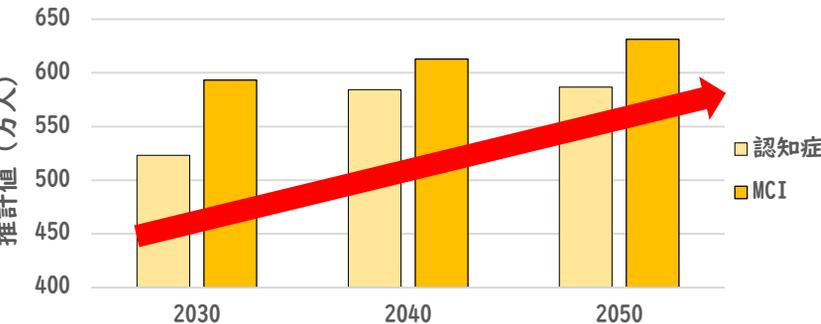


『認知症』は自分事。 もう見て見ぬふりはしてられない。



高齢者の6人に1人が**認知症**?!



出展: 二宮利治 「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」

2050年には、高齢者(65歳以上)のうち**586.6万人**が認知症に、**631.2万人**がMCI(軽度認知障害)になると推計されています。

大切なご家族やご近所さん、勤め先の常連さんが、認知症になるかもしれません。たとえ身近にいらなくても、認知症のことで悩んでいる人がいるかもしれません。

認知症の症状

認知症の症状には、**中核症状**と**行動・心理症状**があります。

中核症状は治すことはできませんが、**行動・心理症状は、本人の生活や周りの環境によって変化することがあります。**

行動・心理症状がある方の**混乱や不安の原因を理解して対応**することで、穏やかな生活になることもあります。

脳の細胞が死ぬ

中核症状 (脳の細胞が壊れて直接起こる症状)

話している言葉が理解できない 時間や場所がわからない
記憶障害 仕事や家事ができなくなる 判断力低下 等

性格や環境、からだところの状態

行動・心理症状 (BPSD)

不安・焦燥 幻覚・妄想 一人で歩き回る うつ状態
興奮・暴力・怒りっぽくなる 意欲がなくなる 等

対応のポイント

認知症の人には、認知症への正しい理解に基づく対応が大切です。対応の基本は“3つの「ない」”です。

行動・心理症状が出現している場合には、本人の尊厳を守りながら、関係者と連携を取り合い、その方に合った対応策を探っていきます。住民同士が挨拶や声掛けをするなど、日常の良い関係が、いざというときに役立ちます。

認知症の人への対応 基本姿勢“3つの「ない」”

驚かせない

急がせない

自尊心を傷つけない

共に生きる、共に支える **地域共生社会** を目指しましょう!

人と人とのつながりそのものがセーフティネット



地域共生社会とは、「支える側」と「支えられる側」という枠組みを超え、年齢や性別、認知症や障がいの有無などにかかわらず、それぞれが役割をもって支え合い、誰もが生きがいをもちながら暮らすことのできる社会のことです。

誰もが多様な個性を生かして地域づくりに参加することで実現していきます。

出展: 厚生労働省 地域共生社会のポータルサイト

茅ヶ崎市の認知症に関する取り組み



茅ヶ崎市では、認知症になっても、その方の尊厳を維持しつつ希望をもって暮らすことができるように、「地域共生社会」の実現を目指します。取り組みを通じて、認知症の方や家族の思いに寄り添うとともに、認知症に対する正しい理解や正しい知識を深め、認知症の方や家族を支えるための支援体制づくりに取り組んでいます。

認知症あんしんガイド

認知症になっても住みやすい茅ヶ崎市を目指し、症状や予防のポイント、認知症の方への接し方、サービス等を紹介している冊子です



冊子のダウンロードはこちらから →

認知症等行方不明高齢者 SOSネットワーク

認知症等のために行方不明になるおそれのある高齢者の特徴を事前に登録する制度です。行方不明となった際にはSOSネットワークの関係機関への連絡や、市民への捜索依頼をすることにより、早期発見・早期保護を行います。

にこにこクラブ

認知症の方を抱えている家族や介護者同士で悩みや困りごとを相談し合い、話し合うことができる「家族会」を行っています。

問い合わせ 寺元 栄子さん
電話番号 0467-52-1296

若年性認知症本人ミーティング

若年性認知症当事者同士が、日々の楽しみや困りごとなどを自由に語り合える会です。

問い合わせ 保健所保健予防課
電話番号 0467-38-3315(直通)

若年性認知症 家族のつどい「うみの会」

若年性認知症の家族を中心とした自主活動グループです。

問い合わせ 保健所保健予防課
電話番号 0467-38-3315(直通)

成年後見支援センター

成年後見制度は、認知症等の理由で判断能力が不十分なため、財産管理や契約などの行為が困難な方を保護するための制度です。制度の仕組みや利用方法、手続きなどのご相談をお受けします。

問い合わせ 茅ヶ崎市成年後見支援センター
電話番号 0467-81-7230(直通)

認知症サポーター養成講座

認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくりのために、認知症を正しく理解して、地域で認知症の方やそのご家族を見守っていただけるサポーターの養成講座を実施しています。

認知症カフェ

認知症の方や家族だけでなく、認知症のことに興味のある方々や支援者等、皆さんの居場所であり、さまざまな内容で活動しています。

チームオレンジ

認知症の人や家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぎ、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの具体的活動のことです。

ちがさきオレンジDay

認知症月間に合わせて、子どもから大人まで広く市民の方々に、認知症についての理解を深めていただくため、イベントを開催しています。

認知症疾患医療センター

湘南東部地域では、湘南東部総合病院が神奈川県から委託を受け、認知症に関する様々な相談を受け付けています。

認知症サポート医

認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言とその他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師です。

認知症予防につながる 教室や講演会

市や地域包括支援センターで開催している介護予防教室や講演会は、認知症予防にもつながります。

詳細はこちらから→



発行 令和6年12月1日
茅ヶ崎市役所 高齢福祉課
問い合わせ 0467-81-7163(直通)